

日本保健物理学会 新 Newsletter 2018 年 12 月 27 日号

送信者:一般社団法人日本保健物理学会<exec.off@jhps.or.jp> 2018/12/27 17:17:20

日本保健物理学会 新 Newsletter 2018 年 12 月 27 日号

1. 学会関連情報

○企画シンポジウム 「医療における放射線防護を考える -医療被ばくと従事者被ばく-」 事前申込 受付中
2019 年 1 月 12 日 (土) 13:30~17:00 東京医療保健大学国立病院機構キャンパス第 2 別館 H2511
<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/conv/page.cgi?id=74>

○企画委員会 次期専門研究会の募集のお知らせ (11 月 5 日) 再掲
次期 (2019-2020 年度) の専門研究会の募集中です。設置を希望される会員の方は、専門研究会運営細則
(http://www.jhps.or.jp/upimg/files/dr_senmon.pdf) をお読みの上、必要事項を記入したファイルを添付し企画
委員会担当者までご応募ください。
応募締め切りは、専門研究会運営細則第 2 条 1 項に従い平成 30 年 12 月末となります。
<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=129>

○[速報] Joint JHPS-SRP-KARP Workshop of Young Generation Network First Announcement 公開
来年の仙台大会の前日 (2019 年 12 月 4 日) に若手研究者のワークショップを開催いたします。
<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/conv/page.cgi?id=76>

○国際対応委員会 国際放射線防護学会 (IRPA) ニュースレター No. 19 を翻訳・公開 (12 月 3 日)
IRPA のニュースレターである IRPA Bulletin の邦訳版を作成し、IRPA のホームページに公開されました。
<http://www.irpa.net/page.asp?id=54592>

2. 関連する研究情報

○[本学会後援] 19th International Conference on Solid State Dosimetry (SSD19) 参加登録のサイトがオープン
(2019 年 9 月 15-20 日, 広島国際会議場) および Marko Moscovitch School (2019 年 9 月 11-14 日, 広島大学広仁会館)
アブストラクトの提出〆切:2019 年 2 月 15 日、お得な早期登録の〆切: 2019 年 5 月 15 日
<http://ssd19.org/registration/>

○文科省・新学術領域研究・学術研究基盤形成事業「短寿命 RI 供給プラットフォーム」
短寿命 RI 供給の実験課題募集 (第 6 回)
平成 31 年度上期に短寿命 RI の利用を希望される実験課題募集
申込締切:2019 年 1 月 7 日
<http://www.rcnp.osaka-u.ac.jp/~ripf/info/index.html>

(論文情報)

○Journal of Epidemiology, released online December 15, 2018

2012年から2014年度の県民健康調査のデータを用いて、福島に居住する母親の将来の妊娠の意向の推移と関連要因を調査。

妊娠の意向は2012年に53.5%であったのに対し、2014年は57.9%と微増していた。また、放射線への不安(母乳の汚染への不安)は、低い妊娠の意向と関連していることがわかり、その傾向は特に「初産婦」に顕著であった。出生率を上げるためには、産科やメンタルヘルスのケアの充実と子育て支援の拡充が必要であることが示唆された。妊娠が登録された女性からの回答率が50%より低いこと、将来の妊娠の意向は実際の妊娠を必ずしも示さないこと、社会経済的状況についての情報がないという研究の限界についても言及。

Factors Associated With Intention of Future Pregnancy Among Women Affected by the Fukushima Nuclear Accident: Analysis of Fukushima Health Management Survey Data From 2012 to 2014

Goto A et al

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jea/advpub/0/advpub_JE20180015/_article/-char/ja/

○Nuclear Instruments and Methods in Physics Research Section B Volume 439, 15 January 2019, Pages 64–69

東海原子力発電所に近接して成長した樹齢80年の松の木から年輪を抽出し、加速器質量分析計(AMS)を用いて ^{14}C 濃度を測定した。

1959–1965年及び2011–2013年の ^{14}C 濃度はBGレベルであるが、1966–2010年の期間の値はこれらより有意に上昇していた。この期間の過剰の ^{14}C 濃度は、1.1から $70\text{Bqkg}^{-1}\text{C}$ であり、東海原発からの ^{14}C の排出量と相関がある。 $<70\text{Bqkg}^{-1}\text{C}$ の値は、食物摂取経路を通じた、地元住民に対する追加の年間実効線量 $3.9\mu\text{Sv/yr}$ 未満に相当する。

Radiocarbon variations in tree rings since 1960 near the Tokai nuclear facility, Japan

Matsunaka T et al

<https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0168583X18307195>

○ACS Omega, 2018, 3 (12), pp 18028?18038

福島県内の同一箇所でも福島第一原発事故の前と後でサンプリングした試料について ^{90}Sr 濃度を分析。

事故前の試料では $0.2\text{--}20.4\text{Bq/kg}$ 、事故後の試料では $1.37\text{ to }80.8\text{Bq/kg}$ であった。サンプリング箇所56箇所のうち30箇所で有意な差が観察された。 ^{90}Sr 濃度と土の特性の関連を調べた結果、有機物含量と含水量が ^{90}Sr 濃度と正の相関を示していた。

Determination and Comparison of the Strontium-90 Concentrations in Topsoil of Fukushima Prefecture before and after the Fukushima Daiichi Nuclear

Accident Konno M et al

<https://pubs.acs.org/doi/full/10.1021/acsomega.8b02640>

3. ニュースや社会の動き

○原子力規制委員会 平成31年度の重点テーマ決定 平成30年度第2回研究推進委員会

(放射線安全規制研究戦略的推進事業)(12月14日)

<http://www.nsr.go.jp/disclosure/committee/yuushikisya/kiseikenkyuu/00000021.html>

○原子力災害対策本部 第47回会議 特定復興再生拠点区域の避難指示解除と帰還・居住に向けて(案)(審議)
(12月21日)

2022年～2023年春までに、特定復興再生拠点区域の全域の避難指示解除。バリケードなど物理的な防護措置を実施しないことを可能とする。

<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/genshiryoku/dai47/index.html>

○平成31年度ひらめき☆ときめきサイエンス 実施プログラムの企画の募集(締切:2019年2月21日午後4時30分
(期限厳守))

応募資格:現在科研費の応募資格を有する過去又は現在継続中の科研費研究代表者及び当該研究者が所属する研究機関の長

<http://www.jsps.go.jp/hirameki/boshu.html>

○日本原子力学会 標準委員会 標準改定原案に係わる意見受付

pub103 ピット処分及びトレンチ処分対象廃棄物の放射能濃度決定に関する基本手順:201X

意見受付終了日:2019年1月20日

http://www.aesj.net/sc_public_review/sc-pub103-pdf

4. これからのイベント

○日本原子力学会・若手連絡会(YGN)第10回YGN若手勉強会

「放射線問題と国連 ～2つの『国連』報告を読み解く～」

(2019年1月10日、東京工業大学(田町キャンパス)キャンパスイノベーションセンター多目的室2)

申込締切:1月8日

https://aesj-ygn.org/uploads/2018/10thYGN_RadandUN.pdf

○日本技術士会 原子力・放射線部会 第63回 技術士のタベ「原子力プラントの安全性向上対策の動向(仮題)」
成宮祥介氏

(2019年1月18日、東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館地下3階 研修-2)

<https://www.engineer.or.jp/kaiin/dmsw0200.php>

○大阪ニュークリアサイエンス協会ほか 第27回放射線利用総合シンポジウム

(2019年1月21日、大阪大学中之島センター)

<http://onsa.g.dgdg.jp/sympo027.htm>

○(公財)原子力安全研究協会 平成30年度 成果報告会 英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業

廃止措置研究・人材育成推進事業、原子力システム研究開発事業(2019年1月23日、CIVI研修センター日本橋)

<https://www.kenkyu.jp/nuclear/index.html>

<https://www.nsystemkoubo.jp/>

○日本原子力学会標準委員会 原子力発電所の確率論的リスク評価に関する実施基準（レベル 3PRA 編）：2018 講習会
（2019 年 1 月 31 日、東京都港区新橋 5 東洋海事ビル）申込締切：1 月 24 日

<http://www.aesj.net/activity/standard/taikai>

○放射線安全フォーラム 第 58 回 放射線防護研究会（2019 年 1 月 26 日、千代田お茶の水ビル）

「東京電力福島第一原子力発電所事故に関連して策定された放射線防護基準について」（テーマ変更につき再掲）

<http://www.rsf.or.jp/events.html>

○放射線計測研究会 第 71 回研究会（2019 年 1 月 26 日、三菱総合研究所）

「UNSCEAR での経験 ～2013 年報告書のフォローアップ～」谷幸太郎氏、

「東京電力福島第一事故 -新規制基準及び福島復興の現状-」田中俊一氏

<https://sites.google.com/site/radmeas/>

○KEK 加速器研究機構放射線科学センターほか 第 20 回「環境放射能」研究会（2019 年 3 月 12-14 日、KEK）

講演申込締切：2019 年 1 月 22 日

<http://rcwww.kek.jp/enviconf/>

5. 公募情報、学生・ポスドク受入情報

○大阪大学放射線科学基盤機構 特任助教もしくは特任研究員（常勤）1 名（締切：2019 年 2 月 1 日（消印有効））

専門分野：核化学あるいは核物理およびその関連分野

http://www.irs.osaka-u.ac.jp/wp-content/uploads/2018/12/181213_boshu.pdf

○原子力規制庁研究職員（技術研究調査官）若干名（締切：2019 年 2 月 4 日（消印有効））

https://www.nsr.go.jp/nra/employ/kenkyu_keiken.html

既発行の新 Newsletter はこちらです。

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/newsletter/page.cgi>

新 Newsletter にて発信を希望する情報をお持ちの方は、学会事務局へご連絡・お問い合わせください。

—
【発行】一般社団法人日本保健物理学会

【編集】同企画委員会

【発信元】同学会事務局

TEL: 03-6205-4649 FAX: 03-6205-4659

E-mail: exec.off@jhps.or.jp
—